

## 7 平成 25 年 4 月以降の公表値に関する検討

### (1) 平成 25 年 4 月調査前後の集計結果の接続方法に関する検討

平成 25 年 4 月調査の公表値は、郵送化に伴い、それ以前の訪問調査における値と水準差が生じると想定される。そこで、試験調査結果(24 年 7 月～25 年 3 月)を用いてリンク係数を算出し、それをもって 25 年 3 月調査以前のデータを 25 年 4 月調査の値につなげる試行を行った。

リンク係数の考え方としては、試験調査結果(24 年 7 月～25 年 3 月)と同時期の訪問調査結果、両者の幾何平均値の差分をリンク係数として算出し、それをもって 25 年 3 月調査以前のデータを 25 年 4 月調査の値につなげる方法で試算を行った。

(リンク係数 = (24 年 7 月～25 年 3 月の訪問調査幾何平均値) - (同時期の試験調査幾何平均値))

図表 7-1 リンク係数の算出結果

【本調査結果】						
調査時期	消費者態度指数	消費者態度指数を構成する消費者意識指標				
		暮らし向き	収入の増え方	雇用環境	耐久消費財の買い時判断	
平成 24 年 1 月	39.6	40.6	39.3	36.6	41.7	
2 月	39.1	40.4	38.7	36.2	41.2	
3 月	40.1	40.7	39.3	38.0	42.2	
4 月	40.1	40.2	39.5	38.5	42.0	
5 月	40.7	41.2	40.1	39.0	42.6	
6 月	40.8	41.4	39.7	38.9	43.0	
7 月	40.5	40.9	39.6	38.6	42.7	
8 月	40.6	40.9	39.9	39.0	42.4	
9 月	40.4	40.9	39.9	38.2	42.5	
10 月	39.7	40.3	39.7	37.2	41.5	
11 月	39.0	39.9	39.4	35.9	40.6	
12 月	39.0	39.4	38.5	36.7	41.3	
平成 25 年 1 月	43.1	42.6	40.6	44.2	44.9	
2 月	44.2	43.0	41.4	47.3	45.2	

【試験調査結果】					
平成 24 年 7 月	36.7	36.7	35.6	35.2	39.3
8 月	37.8	37.4	36.8	36.6	40.4
9 月	37.4	37.1	37.1	36.0	39.3
10 月	37.0	37.0	37.2	35.0	38.9
11 月	36.1	36.2	36.5	33.5	38.1
12 月	36.9	37.2	36.4	35.4	38.4
平成 25 年 1 月	42.4	41.2	39.5	46.0	42.8
2 月	42.1	39.9	39.6	46.6	42.3

平成24年7月-25年2月平均					
本調査	40.8	41.0	39.9	39.5	42.6
試験調査	38.2	37.8	37.3	37.8	39.9

リンク係数 ( - )					
	2.543	3.168	2.554	1.719	2.706

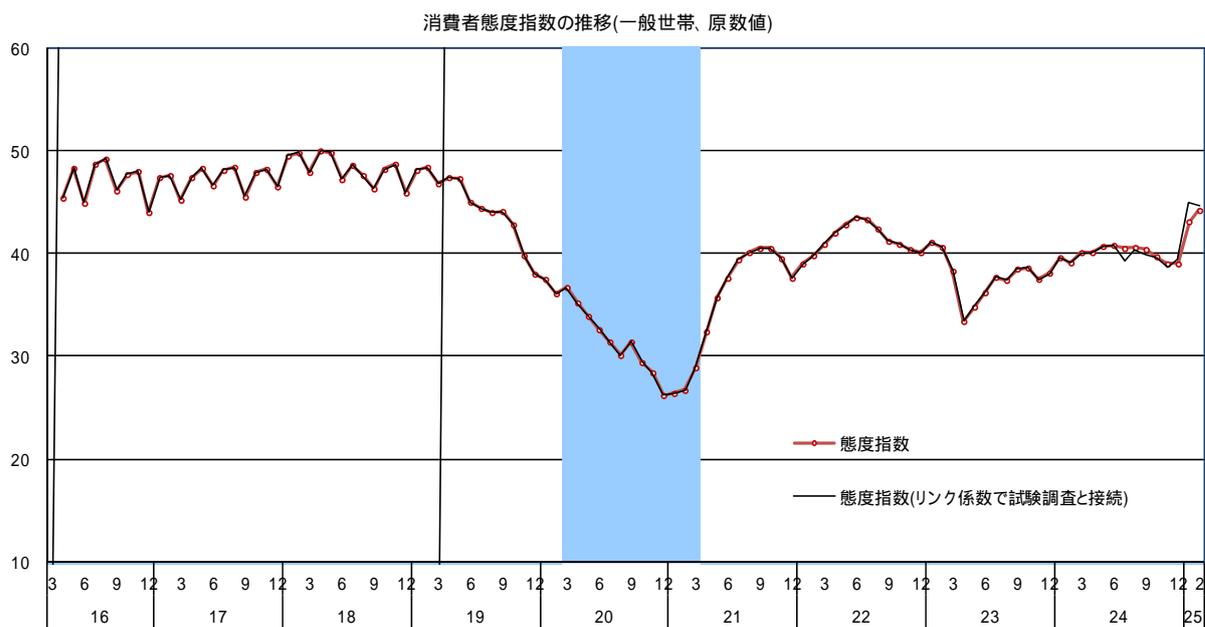
接続方法としては、「訪問調査結果の値からリンク係数を差し引く(平成 25 年 4 月以降の郵送調査結果の値を基準とした接続)」、「平成 25 年 4 月以降の郵送調査結果の値にリンク係数を加算する(訪問調査結果の値を基準とした接続)」の 2 種が想定されるが、ここでは の方法をとった。

図表 7-2 リンク係数を用いた接続結果

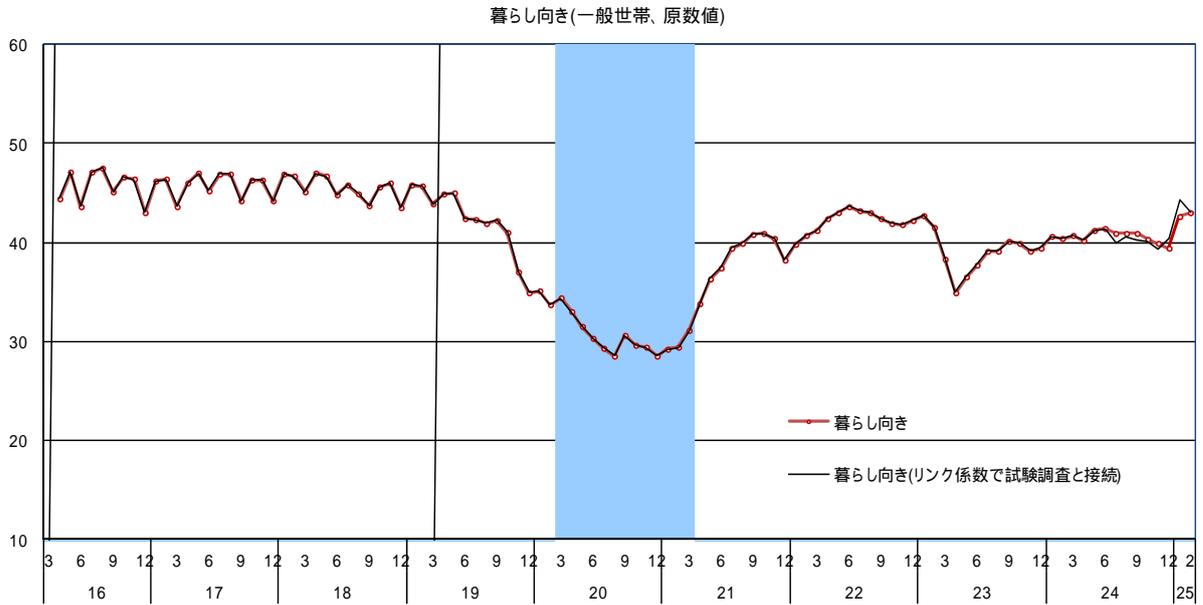
【試験調査結果とリンク係数で接続した場合】

調査時期	消費者態度 指 数	消費者態度指数を構成する消費者意識指標				
		暮らし向き	収入の増え方	雇用環境	耐久消費財の 買い時判断	
平成 24年	1 月	39.6	40.6	39.3	36.6	41.7
	2 月	39.1	40.4	38.7	36.2	41.2
	3 月	40.1	40.7	39.3	38.0	42.2
	4 月	40.1	40.2	39.5	38.5	42.0
	5 月	40.7	41.2	40.1	39.0	42.6
	6 月	40.8	41.4	39.7	38.9	43.0
	7 月	39.2	39.9	38.2	36.9	42.0
	8 月	40.3	40.6	39.4	38.3	43.1
	9 月	39.9	40.3	39.7	37.7	42.0
	10 月	39.5	40.2	39.8	36.7	41.6
	11 月	38.6	39.4	39.1	35.2	40.8
	12 月	39.4	40.4	39.0	37.1	41.1
平成 25年	1 月	44.9	44.4	42.1	47.7	45.5
	2 月	44.6	43.1	42.2	48.3	45.0

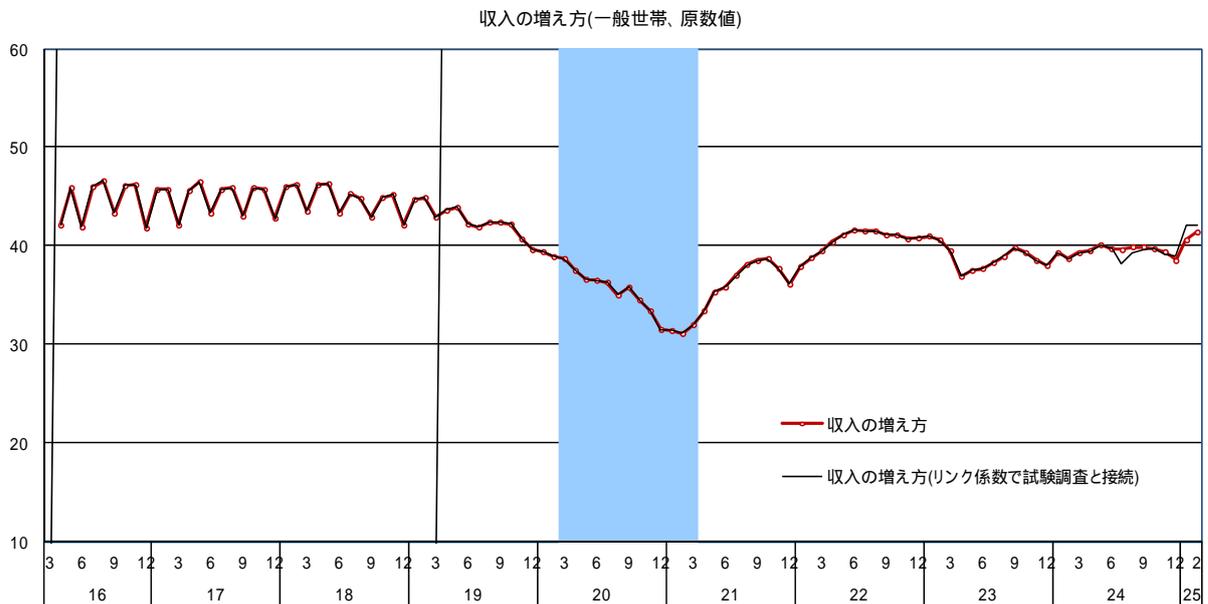
図表 7-3 消費者態度指数の接続結果



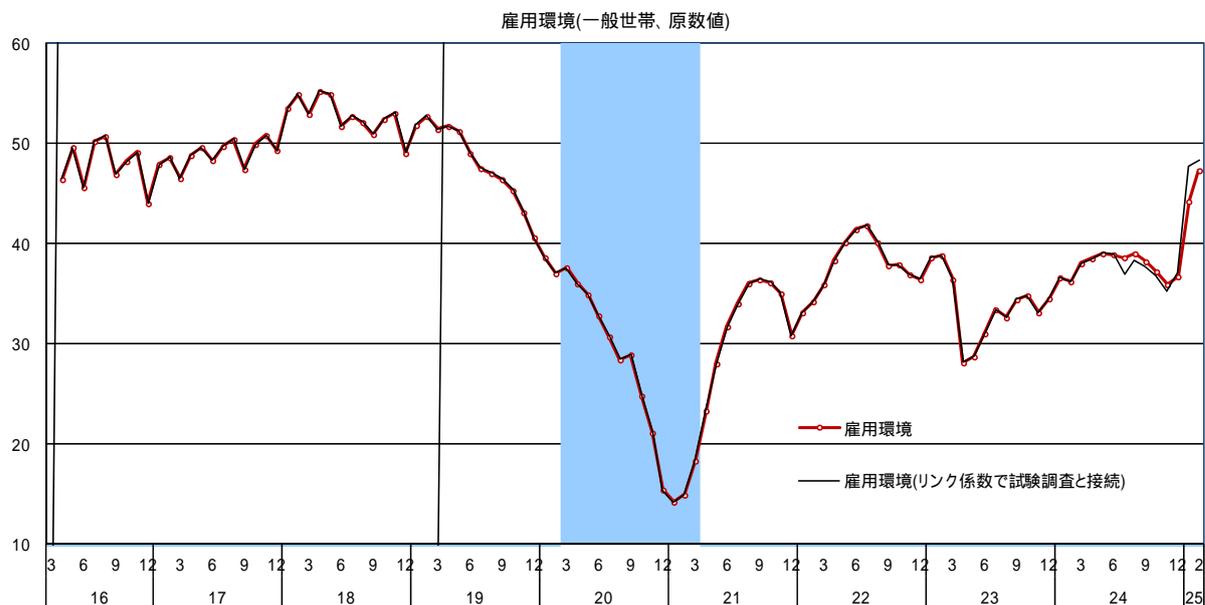
図表 7-4 消費者意識指標(暮らし向き)の接続結果



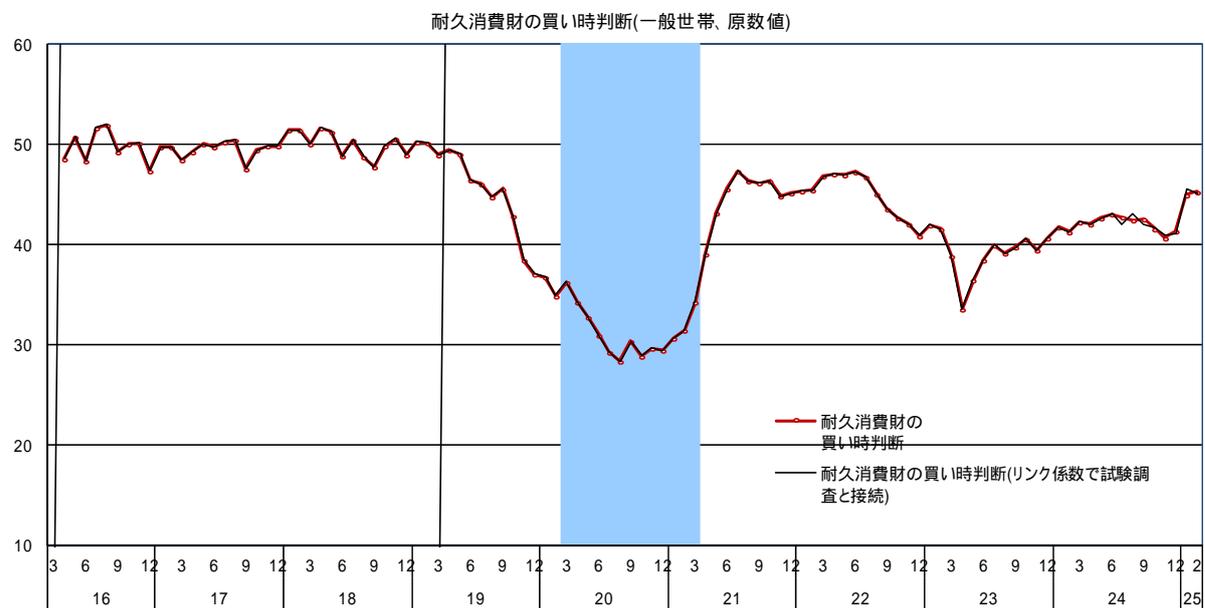
図表 7-5 消費者意識指標(収入の増え方)の接続結果



図表 7-6 消費者意識指標(雇用環境)の接続結果



図表 7-7 消費者意識指標(耐久消費財の買い時判断)の接続結果



## (2) 季節調整値の試算

消費動向調査では、一般世帯の消費者意識指標および消費者態度指数等について、季節調整値が作成、公表されている。調査方法が郵送調査に移行した場合、現行の訪問留置調査結果に郵送調査による結果を接続した原系列に季節調整を行うこととなる。

そこで、試行として、平成 16 年 4 月から平成 24 年 6 月までの現行調査の原数値に平成 24 年 7 月から 2 月までの試験調査による原数値を接続した原系列をまず作成し、この原系列に季節調整を行い、現行調査の公表季節調整値との比較を行った。

### 季節調整系列

- ・消費者意識指標を構成する 4 つの意識指標及び消費者態度指数（一般世帯）
- ・消費者態度指数の季節調整値は、季節調整済みの 4 つの意識指標の平均値とする（現行の季節調整値作成方法と同様）

### 季節調整方法

- ・米国センサス局 X-12-ARIMA にてモデル選定（現行の季節調整値作成方法と同様）

### 季節調整期間

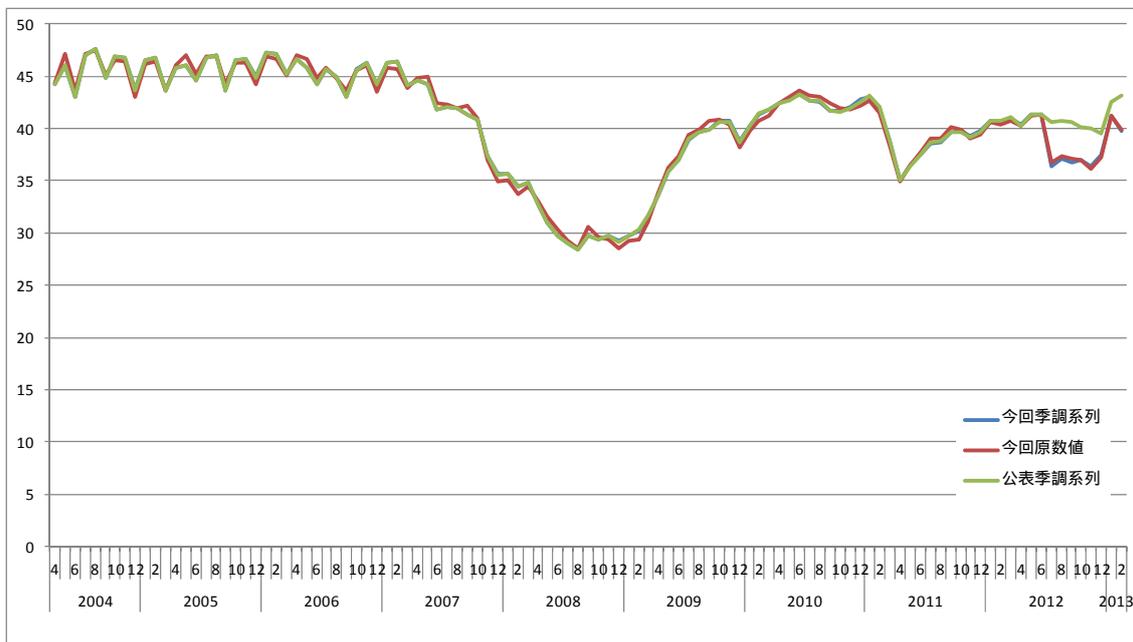
- ・平成 16 年 4 月～平成 25 年 2 月（平成 24 年 7 月～25 年 2 月は試験調査の原数値）

スペックファイルの設定に際しては、X-12-ARIMA の OUTLIER コマンドを用いて異常値等を検出し、調整した。ただし、平成 24 年 7 月以降の調査方法変更の影響を考慮して、すべての意識指標について平成 24 年 7 月にレベルシフトを追加したスペックファイルを用意し、これに基づく季節調整も合わせて実行した<sup>5</sup>。

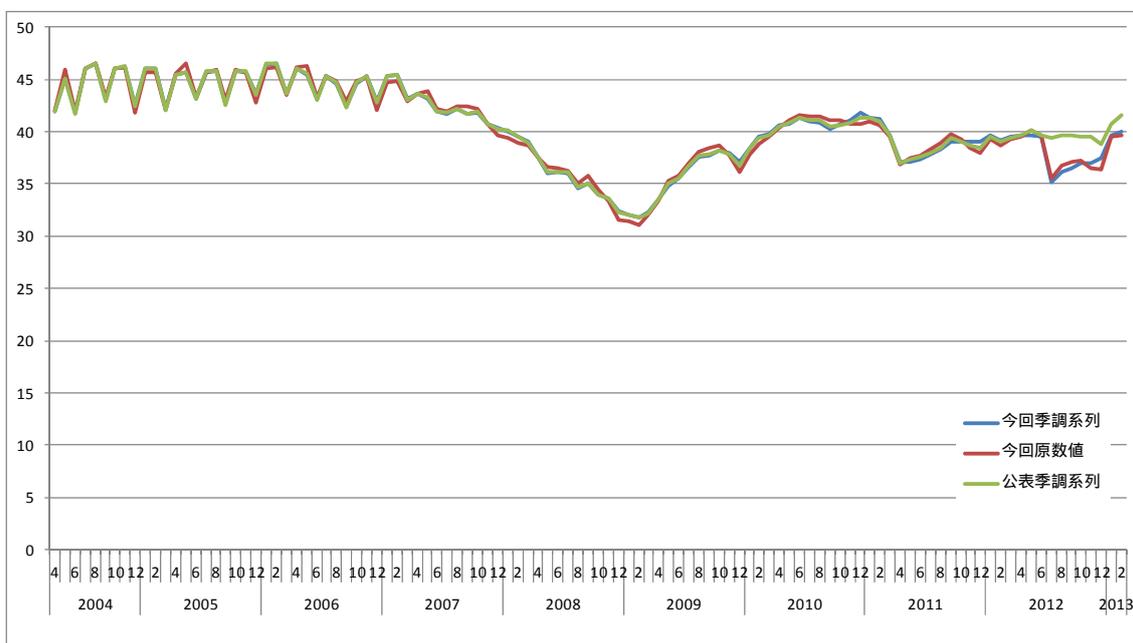
---

<sup>5</sup> 「収入の増え方」「雇用環境」「耐久消費財の買い時判断」については、平成 24 年 7 月のレベルシフトが自動検出されなかったため、事後的に追加した。

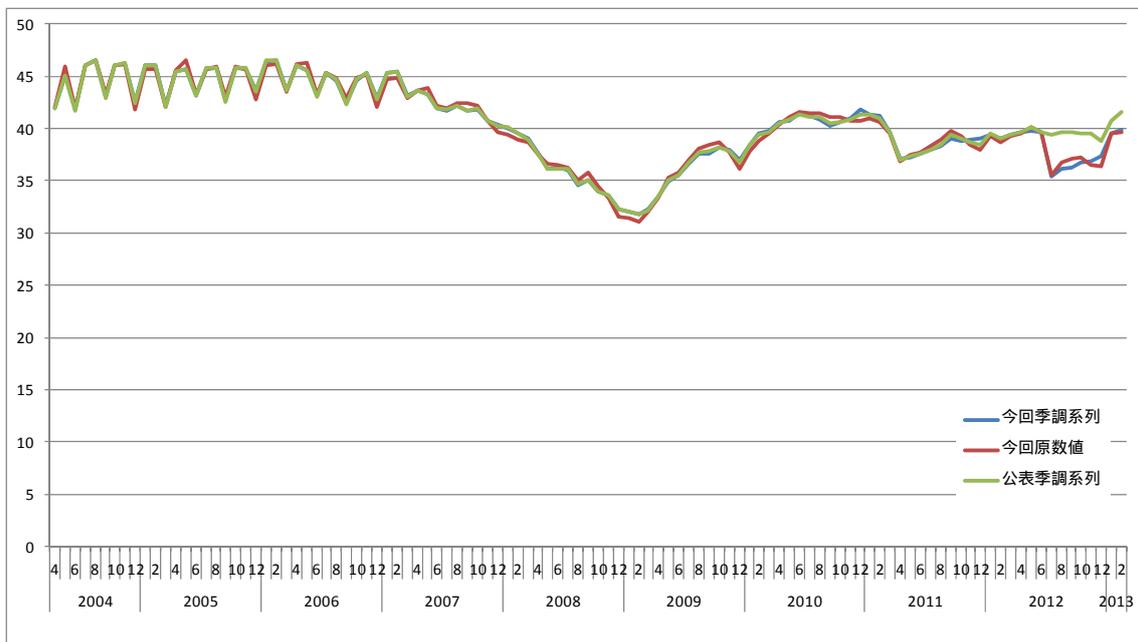
図表 7-8 季節調整値の比較(暮らし向き)



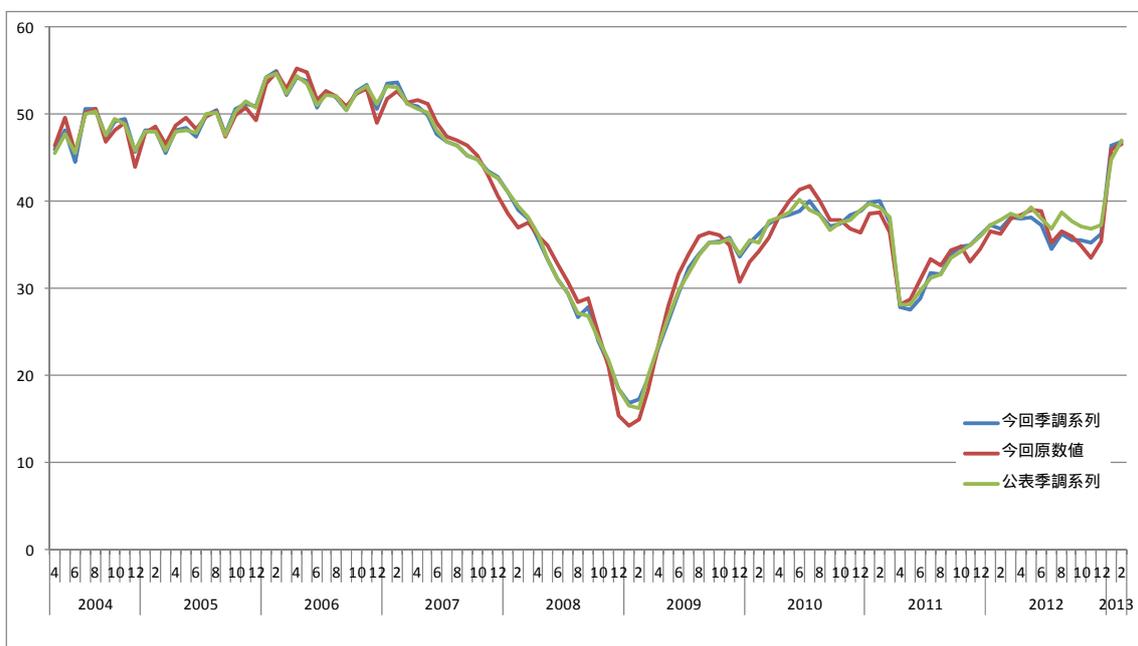
図表 7-9 季節調整値の比較(収入の増え方)



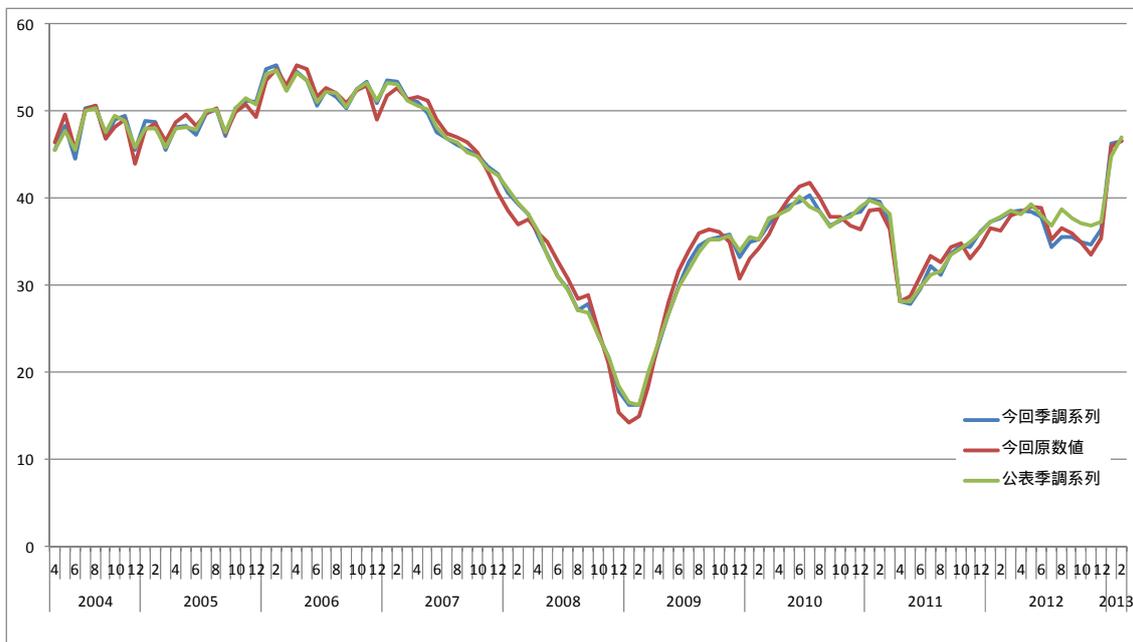
図表 7-10 季節調整値の比較(収入の増え方(2012年7月のTCをLSに変更))



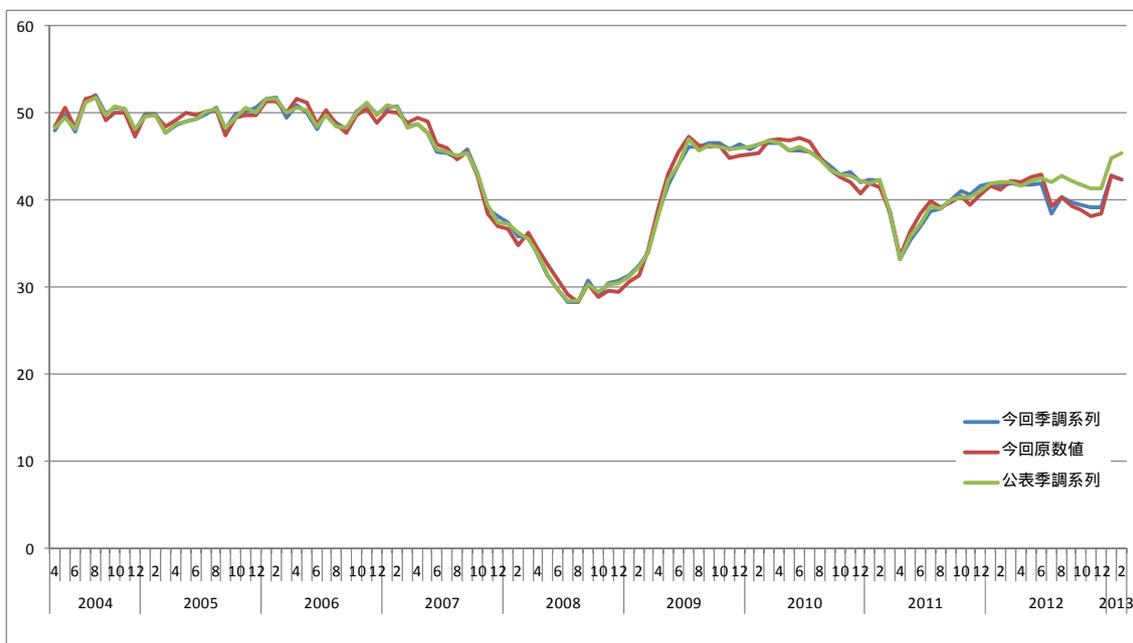
図表 7-11 季節調整値の比較(雇用環境)



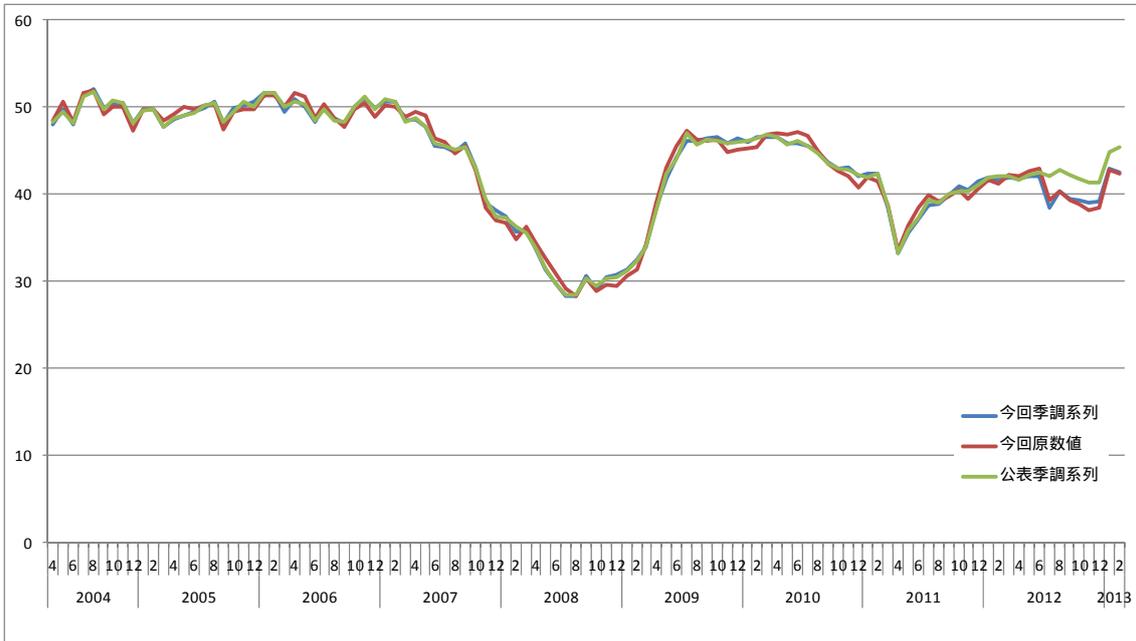
図表 7-12 季節調整値の比較(雇用環境(2012年7月にLSを追加))



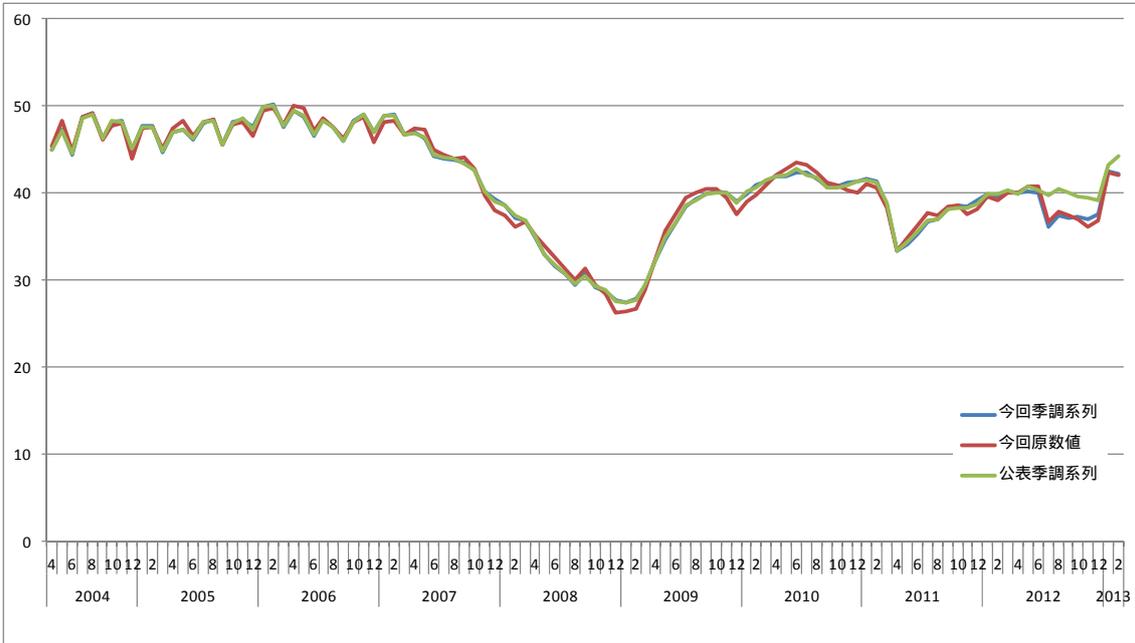
図表 7-13 季節調整値の比較(耐久消費財の買い時判断)



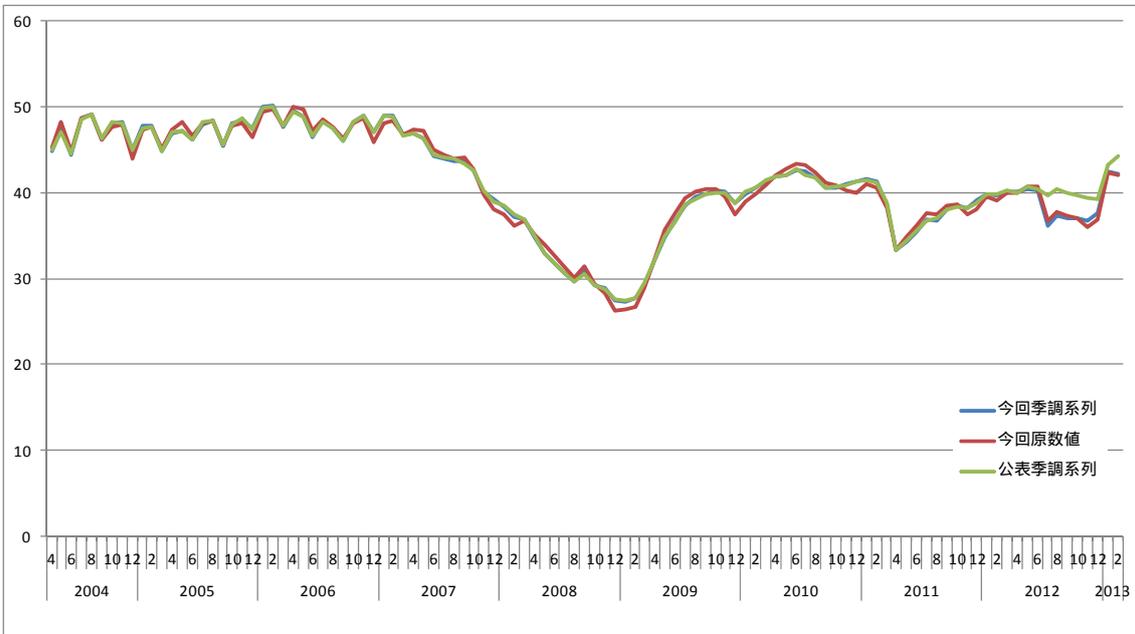
図表 7-14 季節調整値の比較(耐久消費財の買い時判断(2012年7月にLSを追加))



図表 7-15 季節調整値の比較(消費者態度指数)



図表 7-16 季節調整値の比較(2012年7月にLSを追加した季節調整値を使用)



図表 7-17 季節調整値の比較

		暮らし向き			収入の増え方				雇用環境				耐久消費財の買い時判断				消費者態度指数			
		今回 原数値	今回 季調系列1	公表 季調系列	今回 原数値	今回 季調系列1	今回 季調系列2	公表 季調系列	今回 原数値	今回 季調系列1	今回 季調系列2	公表季調 系列	今回 原数値	今回 季調系列1	今回 季調系列2	公表 季調系列	今回 原数値	今回 季調系列1	今回 季調系列2	公表 季調系列
2010	1	39.8	40.2	40.3	37.9	38.4	38.4	38.4	33.1	35.3	35.0	35.6	45.3	45.9	46.0	46.2	39.0	40.0	39.9	40.1
	2	40.7	41.3	41.5	38.8	39.5	39.5	39.4	34.2	36.2	35.3	35.3	45.4	46.4	46.5	46.4	39.8	40.9	40.7	40.7
	3	41.2	41.8	41.8	39.5	39.8	39.8	39.7	35.9	37.5	37.0	37.7	46.8	46.5	46.5	46.9	40.9	41.4	41.3	41.5
	4	42.4	42.4	42.4	40.4	40.6	40.6	40.5	38.3	38.2	38.3	38.2	47.0	46.6	46.6	46.6	42.0	42.0	42.0	41.9
	5	43.0	42.8	42.7	41.1	40.7	40.8	40.9	40.1	38.5	39.1	38.7	46.9	45.7	45.8	45.7	42.8	41.9	42.1	42.0
	6	43.6	43.3	43.3	41.6	41.3	41.5	41.4	41.4	38.9	39.6	40.2	47.2	45.7	45.9	46.2	43.5	42.3	42.6	42.8
	7	43.2	42.7	42.7	41.5	41.0	41.2	41.1	41.8	40.0	40.3	39.0	46.7	45.5	45.5	45.6	43.3	42.3	42.4	42.1
	8	43.0	42.6	42.7	41.5	40.9	40.9	41.1	40.1	38.4	38.5	38.4	45.0	44.9	44.8	44.7	42.4	41.7	41.7	41.7
	9	42.4	41.7	41.7	41.1	40.3	40.2	40.5	37.8	37.1	36.8	36.7	43.5	43.9	43.7	43.5	41.2	40.8	40.6	40.6
	10	41.9	41.7	41.6	41.1	40.7	40.6	40.6	37.9	37.5	37.4	37.6	42.6	43.0	42.9	42.9	40.9	40.7	40.7	40.7
	11	41.8	42.1	42.0	40.7	41.1	41.0	40.9	36.9	38.5	38.1	37.9	42.0	43.2	43.1	42.8	40.4	41.2	41.1	40.9
	12	42.2	42.8	42.5	40.8	41.8	41.8	41.4	36.4	38.9	38.5	39.0	40.8	42.0	42.0	42.2	40.1	41.4	41.3	41.3
2011	1	42.7	43.0	43.1	41.0	41.4	41.3	41.4	38.6	39.9	39.9	39.7	41.9	42.3	42.4	41.9	41.1	41.7	41.7	41.5
	2	41.5	41.9	42.1	40.6	41.2	41.2	41.0	38.8	40.0	39.6	39.3	41.5	42.2	42.3	42.3	40.6	41.3	41.3	41.2
	3	38.3	38.8	38.8	39.5	39.7	39.7	39.7	36.4	37.6	37.3	38.2	38.8	38.5	38.5	38.7	38.3	38.7	38.6	38.9
	4	34.9	35.1	35.0	36.9	37.1	37.1	37.0	28.1	27.8	28.2	28.2	33.5	33.2	33.2	33.2	33.4	33.3	33.4	33.4
	5	36.5	36.5	36.4	37.5	37.1	37.2	37.4	28.7	27.5	27.9	28.1	36.4	35.4	35.5	35.8	34.8	34.1	34.3	34.4
	6	37.7	37.5	37.5	37.7	37.4	37.6	37.6	31.0	28.9	29.6	29.7	38.4	37.0	37.2	37.3	36.2	35.2	35.5	35.5
	7	39.1	38.6	38.7	38.3	37.8	38.0	38.0	33.4	31.8	32.2	31.2	39.9	38.8	38.8	39.3	37.7	36.8	36.9	36.8
	8	39.1	38.7	38.8	38.9	38.3	38.3	38.5	32.6	31.7	31.2	31.6	39.1	39.0	38.9	39.0	37.4	36.9	36.8	37.0
	9	40.1	39.6	39.6	39.8	39.1	39.0	39.4	34.4	34.0	33.6	33.5	39.7	40.1	39.9	40.0	38.5	38.2	38.0	38.1
	10	39.9	39.8	39.7	39.3	39.0	38.8	39.0	34.8	34.8	34.6	34.2	40.5	41.0	40.9	40.3	38.6	38.7	38.5	38.3
	11	39.1	39.3	39.2	38.5	39.0	38.9	38.7	33.1	35.0	34.4	34.9	39.4	40.6	40.5	40.3	37.5	38.5	38.3	38.3
	12	39.4	39.8	39.6	38.0	39.1	39.0	38.4	34.5	36.1	36.1	36.0	40.6	41.6	41.5	41.1	38.1	39.2	39.1	38.8
2012	1	40.6	40.7	40.8	39.3	39.6	39.4	39.5	36.6	37.3	37.3	37.3	41.7	41.9	41.9	41.9	39.6	39.9	39.8	39.9
	2	40.4	40.5	40.7	38.7	39.2	39.1	39.0	36.2	36.9	37.7	37.9	41.2	41.6	41.7	42.0	39.1	39.6	39.8	39.9
	3	40.7	41.0	41.1	39.3	39.5	39.4	39.4	38.0	38.2	38.5	38.6	42.2	41.9	41.9	42.1	40.1	40.2	40.2	40.3
	4	40.2	40.4	40.3	39.5	39.7	39.7	39.6	38.5	38.0	38.6	38.2	42.0	41.8	41.8	41.7	40.1	40.0	40.1	40.0
	5	41.2	41.3	41.3	40.1	39.7	39.8	40.1	39.0	38.2	38.5	39.3	42.6	41.8	42.0	42.2	40.7	40.3	40.4	40.7
	6	41.4	41.3	41.3	39.7	39.5	39.7	39.7	38.9	37.3	37.9	38.0	43.0	41.9	42.1	42.5	40.8	40.0	40.3	40.4
	7	36.7	36.4	40.6	35.6	35.2	35.4	39.4	35.2	34.5	34.4	36.8	39.3	38.5	38.5	42.0	36.7	36.2	36.2	39.7
	8	37.4	37.1	40.7	36.8	36.2	36.2	39.6	36.6	36.2	35.6	38.7	40.4	40.4	40.3	42.8	37.8	37.5	37.3	40.5
	9	37.1	36.8	40.6	37.1	36.5	36.3	39.7	36.0	35.6	35.5	37.7	39.3	39.7	39.5	42.2	37.4	37.2	37.0	40.1
	10	37.0	37.0	40.1	37.2	37.0	36.8	39.5	35.0	35.6	35.0	37.2	38.9	39.4	39.3	41.8	37.0	37.3	37.0	39.7
	11	36.2	36.4	40.0	36.5	37.0	36.9	39.5	33.5	35.2	34.7	36.8	38.1	39.2	39.0	41.4	36.1	37.0	36.8	39.4
	12	37.2	37.5	39.5	36.4	37.5	37.4	38.8	35.4	36.2	36.4	37.3	38.4	39.1	39.1	41.3	36.9	37.6	37.6	39.2
2013	1	41.2	41.2	42.6	39.5	39.7	39.5	40.7	46.0	46.4	46.3	44.9	42.8	42.8	42.9	44.8	42.4	42.5	42.5	43.3
	2	39.9	39.8	43.2	39.6	40.0	39.9	41.6	46.6	46.8	46.5	47.0	42.3	42.3	42.5	45.4	42.1	42.2	42.2	44.3

(注)「今回季調系列1」は、AIC 最小基準でモデル選択を行って算出した結果。なお、「収入の増え方」、「雇用環境」、「耐久消費財の買い時判断」については、AIC 最小基準によって選択されたモデルに 2012 年 7 月のレベルシフトが選択されなかったため、2012 年 7 月に LS を追加したモデルによる季節調整(今回季調調整 2)も追加している。